

鳥取市議会予算審査特別委員会総務企画分科会会議録

| | | | |
|---------------|---|-----|---------|
| 会議年月日 | 令和4年2月24日（木曜日） | | |
| 開 会 | 午前11時42分 | 閉 会 | 午後1時54分 |
| 場 所 | 市役所本庁舎7階 全員協議会室 | | |
| 出席分科員 （8名） | 分科会長 吉野 恭介 副分科会長 伊藤 幾子 分科員 加嶋 辰史、石田憲太郎、星見 健蔵 横山 明、秋山 智博、砂田 典男 | | |
| 欠席分科員 | なし | | |
| 分科員外議員 | なし | | |
| 事務局職員 | 主査兼議事係長 毛利 元 調査係主事 福田 佳菜 | | |
| 出席説明員 | <p>【総務部】</p> <p>総務部長 浅井 俊彦 次長兼総務課長 富田 恵子 総務課公文書管理室長 有元 薫治 総務課課長補佐 蔵増 彩 次長兼行財政改革課長 河口 正博 行財政改革課課長補佐 宮崎 学 次長兼職員課長 塩谷 範夫 職員課課長補佐 藤田 浩一 次長兼検査契約課長 下田 俊介 検査契約課課長補佐 河上 昌輝 次長兼財産経営課長 一村 泰志 財産経営課課長補佐 中村 和範 資産活用推進課長 戸田 昭弘 資産活用推進課課長補佐 福井 一郎</p> <p>【総務部 税務・債権管理局】</p> <p>税務・債権管理局長兼市民税課長 坂本 宏仁 次長兼収納推進課長 吉田 彰克 収納推進課課長補佐 池原 章博 固定資産税課長 中島 辰哉 固定資産税課課長補佐 山本 泰史 市民税課課長補佐 谷本 泰志</p> <p>【総務部 人権政策局】</p> <p>人権政策局長兼人権推進課長 武田 敏男 人権推進課課長補佐 太田奈津美 男女共同参画課長 池上 朱美 男女共同参画課課長補佐 蜂谷 知哉 中央人権福祉センター所長 川口 寿弘 男女共同参画センター所長 安本 哲哉</p> <p>【危機管理部】</p> <p>危機管理部長 乾 秀樹 危機管理課長 植田 孝二 危機管理課参事 岸本 誠 危機管理課課長補佐 太田 瑞穂</p> | | |

| | |
|----------|---|
| | <p>【監査委員事務局】</p> <p>事務局 長 富山 茂 事務局 次長 川口 悦代 局長 補 佐 富田 久人</p> <p>【選挙管理委員会事務局】</p> <p>事務局 長 小嶋 宏 事務局 次長 馬場 睦雄</p> <p>【出納室】</p> <p>会計 管理 者 中村 理人 出納室室長補佐 井上 拓也</p> <p>【市議会事務局】</p> <p>事務局 長 森山 武 事務局 次長 植田 光一</p> |
| 傍 聴 者 | なし |
| 会議に付した事件 | 別紙のとおり |

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午前11時42分 開会

【総務部・危機管理部】

- ◆吉野恭介分科会長 それでは、総務企画委員会を一旦終了し、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。分科会への切替えをお願いいたします。

議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

- ◆吉野恭介分科会長 はい。それでは、議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち、本委員会の所管に属する部分について御説明を、簡潔明瞭をお願いいたします。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 委員長。

- ◆吉野恭介分科会長 河口次長。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。行政改革課、河口でございます。それでは、第5号一般会計当初予算につきまして御説明を申し上げます。説明につきましては、資料3、A4の横長でございます。こちらと、既にお配りをしております事業別概要、こちらのページで御説明しようと考えております。また、場合によりましては、令和4年度鳥取市予算書、こちらのほうのページも記載しておりますので、こちらも、併用して御覧いただきたいというふうに考えております。

それでは、資料3に沿って御説明させていただきますが、2月10日の全協のほうで、基本的には、主な歳入の説明は、市長のほうの説明をさせていただいておりますので、基本的には割愛をさせていただきたいというふうに考えております。ただ、何点か補足をさせていただきたい部分がございますので、ちょっと、そちらのほうの説明から入らせていただきます。

それでは、少し飛んで、7ページでございます。地方交付税のところでございます。こちらは、既に御説明をさせていただいておりますが、若干触れさせていただきたいというふうに思っております。今回、17億の増額ということで、本年度予算額が224億7,471万8,000円とい

うこととでございます。こちらの資料の御説明をさせていただきましたとおり、前年度よりは増えております。ただ、一方で、臨時財政対策債のほうが23億円減少しております。こちら、先ほど2月補正のときに御説明をさせていただきましたが、国のほうが、地方税、それから国税のほうが伸びているということとございまして、基本的には、交付税で交付をするということとを明言されました。これの地方財政計画に基づきまして、本市のほうも振替を調整させていただいたということとでございます。以上、交付税の補足でございました。

○戸田昭弘資産活用推進課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 戸田課長。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、戸田です。お手元の資料は、11ページに飛んでいただけますでしょうか。11ページの下から3行目になります。土地売払い収入でございます。款財産収入、項財産売払い収入、目不動産売払い収入、3,850万円の土地売払い収入を計上しております。これは、未利用となっております布勢地内の旧松保保育園跡地などの普通財産、計4物件、約3,500平米の売払いを予定しているものでございます。

続きまして、その下、物品売払い収入でございます。来年度、4年度100万円の物品売払い収入を計上しております。これは、経年老朽化等によりまして、未利用、車検未更新となります公用自動車などの売払いを予定しているものでございます。インターネット公売を予定しておりますところとでございます。以上でございます。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 河口次長。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。それでは、12ページでございます。19繰入金、基金繰入金でございます。こちら、基本的には、例年どおり、公共施設等整備基金、それから、ふるさと納税、先ほど説明させていただいたものを計上させていただいてるところとございますが、その下でございます。本年度予算額は1億1,371万9,000円、新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金ということでございまして、こちら令和2年度のときに創設をさせていただいたものでございまして、コロナによって、中小企業の方は非常に苦しんでいるところに、無利子で貸付けを行った金融機関、それから中小企業の方に、直接補助金を出すという、これは、文教経済のほうの事業でございます。こちらのほうの財源として計上をさせていただくものでございます。

続きまして、14ページでございます。歳入の最後となりますけれども、臨時財政対策債、23億でございます。こちら、先ほどの交付税の御説明をさせていただきましたとおり、23億円減少をさせていただいております。地方財政計画の中には、67.5%減という大きな額を、国のほうが示しておりますので、本市も交付税の算入の割り振りの勘案いたしまして、23億円減の、結果的に23億円の本年度予算額を計上するものでございます。

以上で、歳入の説明を終わらせていただきたいと思います。

○塩谷範夫総務部次長兼職員課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、塩谷次長。

○塩谷範夫総務部次長兼職員課長 はい。職員課、塩谷です。続きまして、歳出のほうの主なも

のの説明をさせていただきます。15ページをお開きください。総務費、総務管理費、一般管理費、職員費（特別職）です。予算額が3,606万6,000円でございます。こちらのほうは、市長・副市長の人件費でございます。

それから、2行目、職員費（一般職）分でございます。予算額19億5,697万円でございます。こちらのほうは、一般職の人件費でございます。総務部、企画推進部、総合支所の支所長及び地域振興課職員247名分の人件費を計上しております。また、派遣職員の人件費の負担金というの、この中に含まれております。

それから、3行目、退職手当でございます。こちらは、事業別概要31ページ上段でございます。こちらのほう、退職手当、一般職の定年退職20人分、また特別職の2名分、こちらのほうを計上しております。4億5,046万2,000円を計上しております。

続きまして、4行目、補助職員費でございます。要求額1億828万3,000円でございます。こちらのほうは、職員が病気休暇でありますとか、産前・産後休暇、育児休暇などで休んだ場合、代替の会計年度任用職員に係る経費ということで、45名分の人件費を計上をしているところでございます。

○下田俊介総務部次長兼検査契約課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、下田次長。

○下田俊介総務部次長兼検査契約課長 はい。検査契約課、下田です。6つ飛んでいただきまして、同じページ、一般管理費の契約事務費です。予算書は164ページです。予算額641万1,000円です。検査契約課では、全庁にわたります建設工事、測量等業務の入札契約、また物品・役務の入札事務を行っております。これに必要となります需用費等の経費を計上しております。以上です。

○塩谷範夫総務部次長兼職員課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 塩谷次長。

○塩谷範夫総務部次長兼職員課長 はい。職員課、塩谷です。同じく15ページの下から4行目になります。人事管理費の研修参加費のうちの研修関係事務費というものでございます。予算額は2,312万1,000円でございます。こちらのほうは、県外研修への派遣研修の派遣研修費、また、研修講師への謝礼等でございます。また、鳥取県の人材開発センターへの研修委託料でありますとか、自治大学校、市町村アカデミー等の研修参加負担金等を計上しております。

続きまして、次の衛生管理費のうちの衛生管理関係事務費でございます。要求額2,879万2,000円でございます。こちらのほうは、市立病院との健康管理委託でありますとか、それから、定期健康診断、人間ドックの検査費用等を計上しているものでございます。以上です。

○有元薫治総務課公文書管理室長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 有元室長。

○有元薫治総務課公文書管理室長 はい。公文書管理室の有元でございます。資料3、16ページ、中ほどから少し上になりますが、3文書広報費の鳥取市誌編集事業費、412万2,000円でございます。鳥取市誌につきましては、昭和47年度に鳥取市誌1を発刊して以来、おおむね10年

を単位として、市政に関する取組等、詳細な記録を編さんし、発刊しております。このたび、平成23年度～令和2年度を対象とします鳥取市誌6を発刊するに当たり、印刷製本費、消耗品費等、必要経費を計上したものでございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 河口次長。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。その下でございます。財政管理費、予算事務費でございます。本年度予算額が871万8,000円でございます。こちら、予算書の印刷製本費、それから、6月議会で御説明させていただいてます公会計業務、こちらを、会計事務所のほうに委託をする経費を計上するものでございます。以上でございます。

○戸田昭弘資産活用推進課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 戸田課長。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、戸田です。同じページの一番下になります。財産管理費のファシリティマネジメント推進事業費でございます。予算書は168ページ、事業別概要は33ページ上段となります。本年度要求額は5,853万5,000円、前年度より611万円の増です。主な内訳ですけれども、1点目は、効率的な市有施設の維持管理を図るための経費4,140万4,000円を計上しています。これは、継続事業として、施設管理業務等の一括予算要求・一括発注を行う施設の清掃、消防用設備点検、並びに建築基準法第12条による建築物の点検費など3,533万4,000円に加えまして、新規に鳥取市所有の屋外広告物の点検業務費607万円を計上したものでございます。この事業につきましては、後ほど別途資料で御説明いたします。

2点目は、経営基本方針に基づくFMの推進に係る経費86万円を計上しています。これは、施設別の行政コスト算出のための委託費55万円、FMの研修会・講習会開催費31万円となっております。

3点目は、債務負担行為による事業費償還です。1,122万6,000円です。これは、民間提案制度の採択事業で、対象施設の蛍光灯をLED化しました複数施設ESCO導入事業、並びに気高支所の空調設備を遠隔監視で自動制御運転する機器を設置しましたエネルギー削減保証サービス導入事業につきまして、両事業ともに削減となります電気料金の範囲内で施工実施した工事費等を償還するものでございます。このほか未利用資産売却のための鑑定料、測量費等476万2,000円などを計上しております。

最後に、新規事業について説明いたします。説明資料は25ページとなります。はい。それでは、御説明いたします。鳥取市屋外広告物条例に基づく市所有屋外広告物の安全点検一括発注についてでございます。

1番の背景でございます。近年、全国的に適切な管理がされていない屋外広告物が落下、または倒壊する事故が多く発生しておりまして、安全確保がこれまで以上に求められています。こうした中、国の動きもございまして、本市においても、屋外広告物による公衆への危害を未然に防止するために、鳥取市屋外広告物条例の改正が、昨年7月に行われています。これによりまして、原則、全ての屋外広告物の所有者等に安全点検が義務化され、一定規模以上のもの、

屋外広告物ですが、有資格者による点検が令和3年10月1日より必要となりました。

2番目でございます。有資格者の点検対象となる屋外広告物の概略でございます。(1)番で、対象広告物は、高さ4メートル超、または表示面積10平米超の屋外広告物でございます。米印で書いておりますが、屋外広告物とは、建物外部に表示される立て看板、広告板、広告塔などをいいます。次に、実施時期でございますが、これは、2年に1度実施することとなっております。3番目に、必要資格でございます。屋外広告士、あるいは建築士1級・2級などの資格が必要となります。その下に、有資格者による点検が必要な広告物のイメージ図として掲載をさせていただいております。左から、野立て広告、建物利用屋上広告、建物利用壁面広告、建物利用突き出し広告ということでございますので、御覧いただければと思います。

3番目です。安全点検一括発注の目的ということでございます。1つ目として、市が所有する屋外広告物の安全点検業務の効率化を図るため、資産活用推進課で、一括して点検業務の発注を行います。2番目、点検結果（不具合情報）を一元化することで、効率的な保全につながります。

4番目が、予算要求でございます。予算要求額としましては、先ほど申し上げましたが、委託料607万円、対象の広告物は79か所でございます。

5番目でございます。令和3年9月30日までに設置されました屋外広告物は、令和4年度末までに、最初の点検を行う必要がございます。説明につきましては以上でございます。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 河口次長。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。それでは、次のページでございます。上から8段目でございますけれども、地域振興基金積立金でございます。本年度の予算額が1億237万7,000円ということでございます。こちらは、砂の美術館の指定管理者のほうから、こちらの固定納付金ということで、最終年度になりますので、今年度が、すみません、令和4年度がですね。それに応じまして、固定納付金をいただくということになっております。この1億237万7,000円のうち、利息が1万8,000円、それから、先ほど言いました砂の美術館の指定管理者からの固定納付金、これが1億235万9,000円でございます。こちらを、一旦積立てを行いまして、令和5年度の砂像の作製費、制作費のほうに取り崩して計上したいというふうに考えております。令和4年度は、積立てだけということになります。

続きます、2つほど下がっていただきまして、企画費、7企画費、総合企画費、行財政改革大綱等推進事業費でございます。こちら、事業別概要は29ページのほうに詳細を記載しております。主には、市民委員会に係る経費でございまして、10名おられる市民委員さんの報酬等の経費ということでございます。以上でございます。

○池上朱美男女共同参画課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、池上課長。

○池上朱美男女共同参画課長 はい。男女共同参画課、池上です。同じ17ページ、同じ資料の、先ほどから8行下がっていただきまして、男女共同参画啓発事業費について御説明いたします。

事業別概要は43ページ下段を御覧ください。この事業は、男女共同参画に対する理解と共感を高めるため、ニーズに沿った講座の開催による啓発の促進や、図書の貸出しなどによる情報提供の充実を図るものです。具体的には、鳥取大丸5階の鳥取市男女共同参画センター輝なんせ鳥取において、啓発講座を年間25回開催する予定にしております。講座のテーマは、第4次鳥取市男女共同参画かがやきプランの重点項目となっている内容を中心としまして、社会情勢の変化や本市の課題を踏まえながら決めることとしております。例えば、女性の視点を取り入れた防災講座であるとか、女性の就業講座、男性の家事・育児・介護への参画を促進する講座など、年齢や性別に関係なく、多くの方に参加していただけるよう、工夫を凝らしてまいりたいと考えております。また、令和3年度から、麒麟のまち連携講座としまして、本市と連携町の会場をインターネットでつないで、啓発講座を開催しております。本年度、令和4年度も、引き続き開催することとしております。予算額は63万9,000円です。以上です。

○植田孝二危機管理課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 植田課長。

○植田孝二危機管理課長 はい。危機管理課、植田でございます。資料は18ページをおはぐりください。目諸費でございますが、上から4行目、総合防災対策事業費、予算額1,747万9,000円でございます。この事業は、総合的な防災対策全般に係るもので、事業の目的は、事業別概要に記述しております①～④の4つに分類されますが、主な内訳としましては、職員参集システム、自主防災会メール配信システムなど、各種情報伝達手段の維持・運用に関する経費が262万3,000円、FM鳥取による防災ラジオ番組制作・放送費が330万円、地区防災マップの作成費が、2地区で25万円などとなっております。

続いて、6つ下がっていただきまして、自主防災活動補助金でございます。予算額は2,285万円でございます。これは、大きく2つございまして、1つは地区単位で防災資機材を整備する、わがまち防災支援補助金、これは、避難所運営に必要な防災資機材の整備について、各地区の世帯数に応じた対象経費の上限額の10分の10の補助率で整備を支援するものでありまして、令和3年度と4年度で実施するものでございますが、令和3年度、これまでに29地区、61地区中29地区の申請をいただいております。令和4年度は、残りの32地区で1,820万円の支援を見込んでおります。もう一つは、小型可搬ポンプ整備補助でございます。これは、自主防災会単位ごとに、ポンプを新規購入、または更新する場合に、150万円を上限に、購入費の4分の3を補助することとしておりまして、3つの自主防災会で、計450万円の支援を見込んでおります。

続いて、2つ下がっていただきまして、自主防災会関係費、予算額123万2,000円でございます。この事業は、地域の防災事情に詳しい方を防災指導員、防災リーダーとして養成し、各地区の防災活動の中核を担っていただく人材を育成しようとする事業でございます。令和3年度の養成研修を実施した今日現在では、防災指導員が51人、防災リーダーが713人を委嘱、または登録しておるものでございます。

続いて、2つ下がっていただきまして、防災行政無線整備事業費、予算額1億9,910万円でございます。これは、平成16年度から着手した防災行政無線整備が、令和2年度に、全市のデ

デジタル化をもって完了いたしました。今後は初期に整備しました機器や設備を計画的に更新整備いたしまして、安定的な運用が行われるようにするものでございまして、令和4年度は、浜坂地区や賀露地区、末恒地区などにあります屋外拡声子局、20局の更新工事を計画しているところでございます。

さらに、2つ下がっていただきまして、総合防災訓練費、予算額38万7,000円でございます。これは、鳥取市防災の日として定められた9月10日に毎年行っております、総合防災訓練を行うためのものでございます。令和2年度、3年度は、コロナ禍によりまして、住民や関係機関の参加を得ての实地訓練が行えませんでした、図上訓練ですとか、職員による避難所開設訓練を実施しましたが、コロナ禍の状況が落ち着きましたら、用瀬地区と若葉台地区を主会場とした实地での訓練を実施したいと考えておるところです。

続きまして、そこから5つ下がっていただきまして、防災備蓄事業、予算額621万4,000円でございます。これは、備蓄には大きく2つの取組で行っておりまして、1つは、鳥取県西部地震を教訓に、アルファ化米やブルーシートなど、災害時に必要となる22種類の物資を、県内市町村が共同で備蓄するものです。もう一つは、過去の災害経験や市民からのニーズが高い物資について、本市独自に備蓄を行う取組でして、パーティションや段ボールベット、感染症対策で使用する衛生用品などを備蓄しているものでございます。昨年7月豪雨の教訓としまして、けがの手当てなどをする医薬品のセットですとか、避難所受付をするための文房具類を、備蓄品として追加整備することとしております。また、備蓄倉庫の物資、これが災害時に迅速に配送するために、その設備であります電動パレットラックの保守点検と物資の整理も、併せて行うこととしております。

2つ下がっていただきまして、国民保護訓練費でございます。予算額15万1,000円。これは、鳥取市国民保護計画に基づき、ミサイル攻撃など武力攻撃事態や、テロ攻撃などの緊急事態を想定して、警察や消防、自衛隊など、また、地域住民の参加を得て、訓練を実施するものでございます。これも先ほどの総合防災訓練と同じように、2年度3年度と図上訓練となりましたが、コロナの感染状況を考慮しながら、鹿野地区で訓練を、实地の訓練を実施できればと考えておるところでございます。

続きまして、その下の行でございますが、防災ラジオ整備事業費、予算額2,795万1,000円でございます。これは、緊急情報の主たる情報伝達手段としております防災行政無線の屋内での聞き取りにくさ対策のため、市内全域をカバーしておりますFM鳥取の電波を利用しまして、防災行政無線と連動した防災ラジオを、市民の皆様に購入していただくことで、防災情報力の発信力を強化しようとするものでございます。令和2年度から、市民の皆様に、市内電気店等を通じて販売しておりまして、令和2年度は1万3,047台、本年度は、2月22日までに1,978台を販売しております。令和4年度は、3,000台程度の購入していただくことを目標に普及を図ろうとしておるものでございます。以上です。

○戸田昭弘資産活用推進課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 戸田課長。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、戸田です。ページは19ページとなります。

上から4行目、ふるさと納税推進事業費でございます。予算書は178ページ、事業別概要は33ページ下段となります。本年度予算額は、2億3,233万7,000円、財源はその他財源、これは、出店手数料、返礼品代金の18%で2,189万9,000円、一般財源2億1,043万8,000円をお願いするものでございまして、前年度より3,202万5,000円の増となります。初めに、増額理由でございしますが、個人版のふるさと納税寄附額を、令和3年度当初より6,000万円増となる4億6,000万円、これは、令和2年度の決算額相当となりますが、これを見込んでおりまして、これに伴い、必要となる事務経費を増額しております。主な内訳といたしまして、返礼品の調達・発送経費1億6,380万円、外部ウェブサイトの利用手数料5,010万円、本市の返礼品の魅力を寄附を考えている方の視覚に訴えまして、選んでいただける鳥取市を目指し、効果的な写真や調理例などの動画を外部サイト等に掲載する委託費430万円、その他事務的経費及び会計年度職員人件費となっております。企業版ふるさと納税の経費につきましては、寄附を受け入れた場合に、受領証発送費など支出予定でございます。以上でございます。

○武田敏男人権政策局長兼人権推進課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 武田局長。

○武田敏男人権政策局長兼人権推進課長 はい。人権推進課、武田です。資料21ページの上から11行目の償還推進費でございます。この前段でいろいろ御説明させていただきました住宅新築資金、令和4年度から貸付金の回収事務を一般会計で行うものであります。事業別概要は38ページの下段となっております。事業費は227万5,000円です。主には、主な内容としましては、職員手当、役務費等の事務費でございます。以上です。

○川口寿弘中央人権福祉センター所長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 川口所長。

○川口寿弘中央人権福祉センター所長 はい。中央人権福祉センター、川口でございます。資料の22ページになります。上から6つ目の生活困窮者自立相談支援事業についてです。事業別概要は40ページ上段になります。生活困窮者の自立のための相談支援事業を行う相談支援員の人件費になります。令和3年度は、地域共生社会推進・生活困窮等包括的相談支援事業に予算計上しておりましたが、令和4年度よりは、重層的支援体制整備事業のうちの包括的相談支援事業として実施するものであります。事業費は1,637万6,000円となっております、国負担は4分の3となっております。

続いて、その下の地域共生社会推進・包括的支援事業についてです。事業別概要は40ページ下段になります。令和4年度から、重層的支援体制整備事業の生活困窮分野の事業として実施する、いずれも新規事業となります。地域住民の複雑化・複合化したケースに対応するよう、包括的な支援体制を整備するため、生活困窮者等のための地域づくり事業、多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、参加支援事業を実施するものです。事業費は866万2,000円です。国補助は、地域づくり事業が2分の1となっております、それ以外の3つの事業については、4分の3となっております。

続いて、2つ下の子どもの居場所づくり推進事業費についてです。事業別概要は41ページ下段になります。子供たちの居場所であり、地域の多世代の交流拠点ともなっている地域食堂に

取り組んでいる民間団体との立ち上げや、あるいは運営の支援を行っているものです。令和4年度については、新たに3か所の食堂が立ち上がることも見込みまして、事業費は900万円となっております。県補助は、立ち上げ支援が3分の2、運営費の補助が2分の1となっております。以上でございます。

○一村泰志総務部次長兼財産経営課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 一村次長。

○一村泰志総務部次長兼財産経営課長 はい。財産経営課、一村です。資料は、先ほどの子どもの居場所づくり推進事業費の下、国土調査事業費（地籍調査事業費）でございます。事業別概要は32ページ下段を御覧ください。地籍調査事業につきましては、本年1月の臨時補正予算で議決いただきまして、令和4年度に繰越分として事業を予定しておりますが、その際の計画に入っていなかった青谷町の1区分、早牛でございますが、これについて、令和4年度の当初で644万1,000円を計上させていただきまして、併せて事業を実施していくというものでございます。もともと計画されておりました地区なんですけど、国の補正予算の対象とならなかった関係で、4年度の当初予算として計上させていただくものでございます。これによりまして、令和4年度の全体の事業計画としましては、繰越分を合わせて実施面積が1.89平方キロ、事業費が1億1,603万3,000円、進捗率が24.51%の見込みとなっております。以上です。

○植田孝二危機管理課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、植田課長。

○植田孝二危機管理課長 はい。危機管理課、植田でございます。資料は23ページをおはぐりください。予算科目変わりました、款消防費、項消防費、目非常備消防費でございますが、資料、中ほどの警防業務費でございます。警防業務費予算額2,517万4,000円でございます。こちらの事業の内容につきましては、先ほど、議案第51号で御説明いたしました、消防団員が火災等の災害や訓練等に出勤した際の出勤報酬や、消防団員が、米子市にございます鳥取県消防学校で研修する際の派遣旅費などを主なものとしております。

続きまして、警防業務費から6つ下がっていただきまして、消防施設費の消防ポンプ車購入費でございます。予算額は5,931万円でございます。この事業は、鳥取市消防団に配備する消防ポンプ車などや小型ポンプ車、これを年次的に更新するものでございまして、予定、計画では、ポンプ車2台と小型動力ポンプ1台を更新したいと考えております。これによって、適切なポンプの管理運用を行いまして、火災対応をはじめとした地域防災力の維持・向上に努めたいと考えております。以上です。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい、委員長。

◆吉野恭介分科会長 河口次長。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。それでは、24ページでございます。公債費のところでございます。元金、それから2が利子のところでございます。それぞれ、事業別概要30ページの上段、元金、下段が利子ということでございます。こちらは、既に御説明をさせていただいておりますが、元金につきましては8,877万3,000円減額となります。本年度予算額は、91億8,991万5,000円、主なものとしましては特例猶予債、

こちらが3億900万ございましたので、こちら分が皆減ということでございます。

それから、利子、次でございます。こちら、前年度より3,356万円減額の本年度予算額が、4億8,693万7,000円ということでございます。こちら、現状低金利が続いておりますので、借入れが、恐らく低金利で借入れができるということを見越しております、こちらのものが減額の要因ということでございます。

以上で、一般会計の歳入、それから歳出の説明を終わりたいというふうに思います。

◆吉野恭介分科会長 はい。説明ありがとうございました。

本日の委員会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 はい。なしと認め、説明を終了いたします。

それでは、ここで暫時休憩ということにさせていただきます。再開は1時20分とさせていただきます。

午後0時19分 休憩

午後1時18分 再開

◆吉野恭介分科会長 はい。それでは、会議を再開いたします。

議案第10号令和4年度鳥取市土地取得費特別会計予算（説明）

◆吉野恭介分科会長 議案第10号令和4年度鳥取市土地取得費特別会計予算について、説明をお願いいたします。

○戸田昭弘資産活用推進課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 戸田課長。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、戸田です。説明資料につきましては、午前中に引き続きまして、A4横長のこの資料3という資料で、御説明をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

予算説明資料の26ページ、27ページとなります。はい。予算書は428ページ～431ページ、事業別概要264ページ上段となります。この特別会計は、公用または公共用に供する土地等につきまして、あらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るために設置した、土地開発基金につきまして、その運用益の管理を行っているものでございます。

初めに、26ページの歳入でございます。土地開発基金運用収入として、令和4年度当初の基金総額の見込みは、基金額（現金）でございますが、これと、土地開発公社貸付金額を合わせまして、22億3,351万9,000円となります。その運用益として6万7,000円、この基金運用利率は0.003%でございますが、これを運用収入として計上しております。また、土地開発基金からの基金繰入金として、事務費分8,000円を計上しておりますところでございます。歳入合わせまして、7万5,000円を本年度計上しております。

続きまして、27ページの歳出でございます。歳入の運用益6万7,000円の土地開発基金への積立て並びに事務費8,000円を計上するものでございます。

以上、歳入・歳出合計ともに、本年度予算額7万5,000円を計上いたしております。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 はい。

本日の委員会では、字句、説明のみとなっております。委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 はい。なしと認め、次に参ります。

議案第13号令和4年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算（説明）

◆吉野恭介分科会長 議案第13号令和4年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算について、説明をお願いいたします。

○一村泰志総務部次長兼財産経営課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 一村次長。

○一村泰志総務部次長兼財産経営課長 はい。財産経営課、一村です。資料は1枚はぐっていただいて、28ページ、29ページが対象となります。財産区管理事業費特別会計でございます。前年度に比較して、事業に特に大きな変動の要素はございません。

まず、歳入に関してでございますが、28ページを御覧ください。予算を組んでおります財産区管理会のうち、令和4年度の財産運用収入のほか、その他各歳入金を積算した結果、歳入予算は、対前年度比約5%減の1,173万2,000円となります。

次に、歳出に関してですが、めくっていただきまして29ページでございます。各財産区管理会の活動運営費や予備費を計上、合計した歳出予算の額は、歳入と同じ額の1,173万2,000円でございます。

以上が、令和4年度の財産区管理事業費特別会計の歳入歳出予算の内容でございます。以上です。

◆吉野恭介分科会長 はい。ありがとうございました。

委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 はい。なしと認め、それでは、これで予算審査特別委員会総務企画分科会を一旦終了いたします。総務部の皆さん、大変お疲れさまでした。

（ ） どうもありがとうございました。

（ ） お疲れさまでした。

総務企画委員会に切替え 午後1時22分 休憩

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後1時39分 再開

【監査委員】・【選挙管理委員会】・【出納室】・【市議会】

- ◆吉野恭介分科会長 それでは、総務企画委員会を終了し、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。切替えをお願いいたします。

議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

- ◆吉野恭介分科会長 はい。それでは、議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち、本委員会の所管に属する部分について、一括して御説明を簡潔をお願いいたします。監査委員、選挙管理委員会、出納室、市議会の順で説明をお願いいたします。

○富山 茂監査委員事務局長 はい。

- ◆吉野恭介分科会長 はい、富山局長。

○富山 茂監査委員事務局長 はい。はい。監査委員事務局の富山です。そうしますと、当初予算の説明資料になります。2ページをお願いいたします。はい。初めに、総務管理費の公平委員会から、公平委員会費から説明させていただきます。歳入歳出予算書は、172ページになります。

まず、公平委員会費ですが、予算額は216万1,000円を計上しとります。これは、前年度と比較しまして、43万9,000円の増額となっております。これは、令和4年度・5年度におきまして、鳥取市が、鳥取県の公平委員会連合会の会長に当たる年になっておりまして、この関係で、中国地区・全国の公平委員会連合会の理事にも当たるため、都市公平委員会経費が、総会や理事会などへの出席、出席旅費のため、計上したため、増額となっておりますのでございます。

続きまして、監査委員費でございます。歳出、予算書のほうは、ページ、190ページになります。監査委員費は、委員報酬費、職員費、事務費、都市監査委員会の経費で、658万2,000円、ああ、じゃなくて、6,582万3,000円を計上しております。これは、対前年比で、112万8,000円の減額となっております。そのほとんどが職員費で、職員費が97万6,000円の減額ということで、ほとんどが職員費の減額となっております。説明のほうは以上になります。

○小嶋 宏選挙管理委員会事務局長 はい。

- ◆吉野恭介分科会長 はい、小嶋事務局長。

○小嶋 宏選挙管理委員会事務局長 はい。令和4年度当初予算につきまして、選挙管理委員会の所管分を説明させていただきます。説明資料の3ページを御覧いただきたいと思っております。予算書は118ページでございます。

まず、歳入についてでございます。国庫支出金、委託金、総務費委託金でございます。参議院議員選挙費といたしまして8,939万2,000円、参議院議員選挙臨時啓発費といたしまして30万円を計上しております。

次に、下の欄ですけれども、県支出金、委託金、総務費委託金、選挙費委託金でございます。予算書は130ページでございます。県知事・県議会議員選挙準備費といたしまして、3,353万8,000円を計上しております。

次に、歳出についてでございます。資料の4ページのほうを御覧いただきたいと思っております。予算書は182ページでございます。総務費、選挙費でございます。選挙費の予算は、総額で3

億753万円を計上しております。

まず、1の選挙管理委員会費でございますが、4,680万7,000円を計上しております。主な経費といたしましては、委員報酬4人分でございます160万2,000円、事務局職員費6人分でございます、4,382万7,000円、それと、一般事務費126万8,000円でございます。

次に、2の選挙啓発費でございますが、118万5,000円を計上しております。常時啓発事業を行うための選挙啓発推進費95万円と、鳥取市明るい選挙推進協議会へ補助を行う選挙団体、選挙啓発団体育成費23万5,000円でございます。選挙啓発推進費については、鳥取市明るい選挙推進協議会と連携して、啓発事業を実施するものでございます。予算書は184ページ、事業別概要は227ページの上段でございます。主な事業といたしましては、明るい選挙話し合い事業の実施、明るい選挙推進ソフトバレーボール大会の開催、明るい選挙啓発ポスター募集事業などを行うものでございます。

次に、6市議会議員選挙費でございますが、任期満了に伴う市議会議員選挙の執行経費といたしまして、1億3,630万8,000円を計上しております。

まず、市議会議員選挙費につきましては、9,334万6,000円を計上しております。予算書は184ページ、事業別概要は227ページ下段でございます。主な経費といたしましては、投票所・開票所に要する経費、期日前投票所の経費、ポスター掲示場作製・設置等に要する経費、入場券印刷・発送経費、投票用紙の印刷経費、選挙公報の作成・配布に要する経費などがございます。

次に、市議会議員選挙運動費負担金といたしまして、4,296万2,000円を計上しております。事業別概要は228ページ上段でございます。これは、市議会議員選挙における候補者の選挙運動費用につきまして、市費負担をするものでございまして、掲示場用ポスターの作成、選挙運動用自動車の使用、選挙運動用はがき、選挙運動用ビラの作成に要する経費40人分を計上いたしております。

次に、参議院議員選挙費といたしまして、8,939万2,000円を計上しております。予算書は184ページ～187ページ、事業別概要は228ページ下段でございます。これは、任期満了による参議院議員選挙の経費でございます。主な経費といたしましては、先ほどの市議会選挙とほぼ同様でございますけれども、投票所・開票所に要する経費、期日前投票所の経費、ポスター掲示場作製等に要する経費、入場券印刷・発送経費、選挙公報の配布に要する経費などがございます。財源につきましては、歳入で申しあげましたように、全額、国の委託金でございます。

次に、参議院議員選挙啓発費といたしまして、30万円を計上しております。内容といたしましては、期日前投票所の案内看板の作製費などがございます。こちら、財源につきましては、全額、国の委託金でございます。

次に、一番下の県知事・県議会議員選挙費でございますが、3,353万8,000円を計上しております。予算書は186ページ～187ページ、事業別概要は229ページ上段でございます。鳥取県知事選挙及び鳥取県議会議員選挙が、統一地方選挙といたしまして、令和5年の4月上旬頃に執行される予定でございますので、その準備経費として、ポスター掲示場の作製・設置等に要する経費、入場券の印刷・発送経費などを計上しております。財源につきましては、全額、県

の委託金でございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 中村会計管理者。

○中村理人会計管理者 はい。会計管理者、中村です。資料は5ページのほうになります。歳出のほうの説明をさせていただきます。

上から2つ目になります、出納事務費ということで、予算書では168ページ、事業別概要226ページになります。出納関係事務費、収納・支払いに係る事務処理費として、主な事業を上げさせていただきますと、各金融期間窓口で支払われた納入済通知書を機械で読み取り、収納データで作成するための手数料、公金の窓口収納、それから、口座振替等による収納の手数料、ファームバンキングによる金融機関との口座振替データの伝達に係る手数料などの各種手数料が主であります。また、ペイジー口座振替サービスで端末への通信料、端末の通信料、それから、支払い先への支払い予定通知の発送などの通信運搬費もあります。また、来年度、令和4年度ですが、金融機関とのデータ伝送システムであるファームバンキングサービスが、令和5年度で終了に伴いまして、新たなデータ転送サービスへの移行経費として、手数料を上げております。はい。

次に、一番下になります、一時借入金利子ということで、予算書では300ページになります。一時借入金ということで、地域経済変動対策資金、コロナ枠等、預託の当初予算における不足する資金を確保するための一時借入金として、利息を計上しております。当初予算、当初、年度当初ということで、180億、年末から70日間ということで、数字を見込んでおります。また、基金の切替え、繰替え運用に伴う各基金への繰替え利息の支払いということで、併せて計上しております。予算額は1,033万2,000円ということになります。以上です。

○植田光一市議会事務局次長 はい。

◆吉野恭介分科会長 植田事務局次長。

○植田光一市議会事務局次長 はい。じゃあ、植田です。そうしますと、説明資料の6ページのほうを御覧ください。まず、歳入のほうから御説明をいたします。歳入のほうは、予算書の152ページでございます。

雑入としまして、政務活動費等に係る利息分の返還金を1,000円、それから、タブレット端末の通信料の議員負担金としまして、端末に係る経費の2分の1ということで、101万3,000円のほうを計上しております。

続きまして、同じページの下です。歳出のほうです。予算書のページは、162ページになります。主なものということで、御説明をさせていただきます。

まず、目1議会費の上から2項目め、議員期末手当でございます。こちら、人事院勧告に伴いまして、0.15月分の減ということで、それに伴いまして、差引き333万8,000円の減ということになっております。

次の項目、議員共済費でございます。こちらが、給付費負担金の負担率が、33.6%から32.2%ということで変更がかりまして、それに伴いまして、258万円の減ということになります。

1つ飛びまして、調査研究費です。こちらのほうが、160万6,000円の増ということになっております。これ、様々な事業の積み上げの結果、この数字になっておるんですけども、大き

なものといましては、姫路市議会との姉妹都市交流、今度、令和4年度は、今度は訪問する番ということになりますので、そのほかの経費と足して、締めて160万6,000円の増ということになっております。

それから、3つ下がります、議会報発刊費です。こちらが71万9,000円の増、693万5,000円で計上しております。こちら、原材料費の高騰によりまして、見積額が上がっております、それに伴いまして、増額の要求をさせていただいてるところでございます。

その次の項目、運営経費です。こちらが1,713万2,000円で、32万5,000円の減ということになります。これは、これも幾つかの経費、積み上げになりますけれども、変更の要因としては、タブレットの賃貸借とか、保守とか、システム料なんかを反映させたものということで上げさせていただいております。

最後に、下から2項目め、全国市議会議長会負担金等でございます。138万3,000円です。12万8,000円の増ということになります。こちらは、中国市議会議長会の定期総会、今度は県内、境港市で開催ということで、特別負担金を併せて上げさせていただいてるための増額ということになっております。以上です。

◆吉野恭介分科会長 はい。ありがとうございました。

本日は説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 はい。なしと認めます。

それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会をこれで終了いたします。皆様、大変お疲れさまでした。

総務企画委員会に切替え 午後1時54分 閉会

令和4年2月定例会

総務企画委員会・予算審査特別委員会総務企画分科会

日時：令和4年2月24日（木）

10:00～

場所：本庁舎7階全員協議会室

総務部・危機管理部

《総務企画委員会》

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第23号 令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第15号）【所管に属する部分】

議案第28号 令和3年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計補正予算（第1号）

議案第31号 令和3年度鳥取市財産区管理事業費特別会計補正予算（第1号）

◎議案【先議分以外：説明】

議案第40号 鳥取市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

議案第41号 鳥取市特別会計条例の一部改正について

議案第42号 鳥取市税条例の一部改正について

議案第48号 鳥取市住宅新築資金等貸付条例の廃止について

議案第51号 鳥取市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

議案第55号 包括外部監査契約の締結について

◎陳情【質疑・討論・採決】

<陳情（新規）>

令和3年陳情第12号 母（毛嘉萍）が中国で不法に逮捕されている件に関する意見書の提出を求める陳情

◎報告

・鳥取市業務継続計画について（危機管理課）

《予算審査特別委員会総務企画分科会》

◎議案【予算審査分：説明】

議案第5号 令和4年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第10号 令和4年度鳥取市土地取得費特別会計予算

議案第13号 令和4年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算

↓裏面があります↓

監査委員・**選挙管理委員会**・**出納室**・**市議会**

-----《**総務企画委員会**》-----

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第 23 号 令和 3 年度鳥取市一般会計補正予算（第 15 号）【所管に属する部分】

-----《**予算審査特別委員会総務企画分科会**》-----

◎議案【予算審査分：説明】

議案第 5 号 令和 4 年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

-----《**総務企画委員会**》-----

その他

・令和 4 年度総務企画委員会視察について